

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 153 ※記入不要	<b>提案機関名</b> 足柄地域農業改良普及センター
<b>要望問題</b> 発酵酵母の野菜生産への利用（現場からの要望）	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現場より次の要望が出されました。地元企業との連携の可能性を秘めており、地域農業振興上思慮される要件と思われるので、よろしくご検討願います。 ①背景（原文のまま） 「現在、トレーサビリティ（経歴管理）の物と特徴のある物（物語がついて物）更に安心、安全な物を求める時代と思われれます。あしがら地区にて、ビール会社が設立され、発酵酵母が入手できる環境にあり、発酵酵母及び炭を利用した、環境に配慮した農産物を生産したく、また、生産農家では、多種の試験、効果、結果と日々の生産で、実施できない状況であります。そのため、同一資材を利用した、割合の比較は困難である為農業試験所園場で試験、評価を行い使用条件を設立され、地域農家に還元して頂きたい。」 ②内容（本人より聞き取り） 発酵酵母と炭を土壤に施用することで、野菜の品質や収量を向上できるのか確認して欲しい。対象作物はスプラウト（ソバ、ブロッコリー）、葉菜類（ホウレンソウ、コマツナ、京菜）。 ③（想定される）対象地域及び規模（本人より聞き取り） JAあしがらアサヒビール農産物直売所に出荷している生産者（約30名）等。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>研究対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業総合研究所
部 署	農業環境部
<b>対応区分</b>	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合)
<b>対応の内容等</b>	ビール酵母は乾燥させて菌体肥料として販売されています。生酵母が入手でき、その農業利用を考えているのであれば、原料を提供頂ければ肥料成分を分析し、使用方法を指導します。 また、炭の効果については当所でも試験を実施しておりますが、明確な効果はみられていません。 このため、酵母と炭の組み合わせ施用により農作物の品質に差が出るとは考えにくいと思われれます。酵母等の肥料効果であれば、肥料成分の分析と、コマツナのポット栽培等で検討可能です。 なお、農地でビール酵母を肥料として使う場合は、肥料取締法に基づく届け出が必要なので、確認した上で使って下さい。
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>備 考</b>	